

Thank you from OMACHI

大町町から、ありがとう



全国各地から寄せられたたくさんの支援。大町町の復興はそんな数多の思いから成し遂げられつつあります。

ここでは、多くの分野に渡り活躍された支援団体について紹介します。

支援者と被災者の立場を超えた繋がり

Q. 団体について教えてください。

A. オープンジャパンは、阪神淡路大震災を契機に誕生した民間の非営利団体です。

「その先の笑顔のために」というビジョンを掲げ、そこで生活する方々の気持ちに寄り添った支援をその場その場で考え、話し合い、形にしています。

Q. 実際に行った災害支援活動について教えてください。

A. 下瀧公民分館をボランティア支援ベースとして構えさせていただき、下瀧地区の支援の中継地点役割を果たさせていただいたり、災害支援のコーディネート、床下や重機などの技術系の直接的な支援、被災者のメンタルヘルスケアの訪問活動など支援をさせていただき

ました。

Q. 支援をするなかで印象に残った出来事を教えてください。

A. これまで災害がある度に過去の被災地とのつながりの大切さを感じていましたが、令和元年に下瀧で支援させていただいた時に出した手紙が公民分館に飾られていたり、下瀧地区の人たちが最後の炊き出しに集まった時に、私たちへの感謝会を行ってくれるなど、支援者と被災者という立場を超えた繋がりや絆というものを感じました。

改めて、自分たちがしている災害支援が下瀧地区の皆さんの思いも預かっているということを感じたことがとても印象に残っています。



◀From▶ 宮城県石巻市

一般社団法人 OPEN JAPAN
てしろ ちか
手代 千賀さん

平時からのつながりの大切さを実感

Q. 団体について教えてください。

A. ピースポート災害支援センターは、被災地での災害支援活動や災害に強い社会づくりに取り組み非営利団体で、これまで海外で33か国、国内では62を超える地域の災害支援を行っています。

私たちが行う災害支援は、被災地のニーズや状況、条件などを調査したうえで、最適な支援の形を検討・提供します。

Q. 実際に行った災害支援活動について教えてください。

A. 令和3年8月18日に支援要請を受けて大町町に支援に入りました。行政、社協、支援団体、そして地域住民の皆さんと連携して、公民館などの地域交流拠点の運営、新型コロナウイルス対策を踏まえた避難所運営やガイドラインづくり、在宅避難者や避難所入所者へ向けた炊き出しサポートや支援物資などの支



◀From▶ 東京都

一般社団法人
ピースポート災害支援センター
からしま ゆかり
辛嶋 友香里さん

援調整事務などを行いました。

Q. 支援をするなかで印象に残った出来事を教えてください。

A. 東日本大震災の災害支援以降、同じ地域で2度の被災を受けた地域の支援は初めてでした。

そのなかで、令和元年の災害支援でつながった人たちが、連絡1つで現状を報告してきてくれて、すぐに支援に入りました。改めて平時からのつながりが大切というのを感じさせる出来事でした。



▲行政、支援団体との連携体制を調整する辛嶋さん(写真右)